

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-17	中学校	技術・家庭	技術・家庭(家庭分野)	第一学年から第三学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
6・教図	家庭・725	新技術・家庭 家庭分野		

1. 編修の趣旨及び留意点

学習指導要領に示された「目標」および「内容」にもとづきながら、中学生が、技術・家庭（家庭分野）の学習を通して、自ら考え、自分らしい生活をつくり、他者とかかわりながら社会の一員として行動できるように配慮して編修しました。

2. 編修の基本方針

- ◎**構成** 学習指導要領の内容とあわせて、大きくA, B, C, Dの4つの内容で構成しました。小学校家庭科とのつながりがわかりやすいようにという配慮でもあります。
- ◎**文章表現** 簡潔でわかりやすい文章表現を心掛けました。学習中に生徒の中に生まれる「なぜ?」「どうして?」という疑問にこたえられるように、教科書の中にはできるだけ理由や根拠などを示し、重要な語句は、一目でわかるよう太字にしました。また、多様な価値観を否定しない表現を用いるように配慮しました。
- ◎**実感をともなう学習活動のために** 図版、イラスト、写真の適切な使用により、内容を理解しやすいよう配慮しました。また、学習内容に興味を持てるように、問いかけやクイズなどを多く掲載しました。自分の生活をふり返らせたり、原寸大の写真を用いたりするなど、実感をともなった学習ができるように配慮しました。各内容の中には、いろいろな実習や作業を取り入れ、自分自身で考えたり、話し合ったり、体験したり、作業を行ったりしながら、生徒が学習を深めていくことができるようにしました。
- ◎**自学自習のために** 学習内容を確認しやすくするために、「学習の目標」の明記、「キーワードチェック」欄の掲載、「学習のふり返し」の掲載などの工夫をしました。また、生徒が教科書を読んで、理解を深めたり、新たな興味を持ったたりしやすいように、文章や図表、写真などの資料を充実させました。さらに、発展的な学習内容を掲載し、興味に応じて学習することができるようにしました。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
家庭分野の学習を、はじめよう！	・ 家庭分野全体の学習内容の概要や進め方を示し、これからの学習に見通しを持てるようにしました。 (第1号)	口絵1～2
年中行事とわたしたちの暮らし	・ 伝統や文化を見つめる資料となるよう、中学生に身近な年中行事を取り上げました。(第5号) ・ 人生のお祝い事の例として、入社式、成人式、結婚式などを取り上げ、未来の自分の姿を思い浮かべたり、社会で活躍する姿を想像したりできるようにしました。(第2号)	口絵3～7
わたしの成長と家庭分野の学習	・ 小学校のころの学習をふり返ったり、中学校の家庭分野の目標を立ててみたりすることにより、これからの学習に見通しを持てるようにしました。 (第1, 2号) ・ 自分の成長をふり返りながら、いままでの家族やまわりの人たちとのかかわりに気付くことができるようにしました。(第3号)	4～5ページ

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>A 家族・家庭と子どもの成長</p> <p>第1章 家族と家庭生活</p> <p>第2章 幼児の生活と家族</p> <p>選択 生活の課題と実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の実現のために、家庭の仕事について丁寧に取り上げたり、育児・介護休業法について考えさせるコラムを掲載するなどして、中学生が具体的にイメージして行動しやすいように配慮しました。(第3号) ・地域の中で中学生にできる活動を考えさせたり、具体的な例を写真入りで示すなどして、積極的に社会活動への参加を促しました。(第3号) ・将来の自分が社会の中で活躍する姿をイラストで掲載するなどして、人生における社会生活を意識させる工夫を各所で行いました。(第2号) ・幼児の成長を支えるのは親や家族だけではなく社会全体という意識を持ち、社会の一員として積極的に行動することを目指しました。(第3, 4号) 	<p>12～15ページなど</p> <p>22～25, 64～65ページなど</p> <p>26～27ページなど</p> <p>30～59, 66～67ページなど</p>
<p>B 食生活と自立</p> <p>第1章 健康と食生活</p> <p>第2章 献立作成と食品の選択</p> <p>第3章 日常食の調理と地域の食文化</p> <p>選択 生活の課題と実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養や健康にかかわる内容を扱う部分では、イラストや図を多用するなど、中学生にわかりやすい表現をこころがけました。(第1号) ・環境に配慮した食生活のための実践例を多く取り上げ、家庭生活の中で取り組みやすいように工夫しました。(第4号) ・日本の郷土料理を取り上げるとともに、外国の料理も写真で取り上げました。また、自分の住んでいる地域以外の食文化や、国際社会と自分の食生活とのつながりに気付き、広い視点で食生活を捉えられるようにしました。(第5号) 	<p>68～93ページなど</p> <p>94～101, 104～113, 130, 135ページなど</p> <p>134～141ページなど</p>
<p>C 衣生活・住生活と自立</p> <p>第1章 わたしたちの住生活</p> <p>第2章 わたしたちの衣生活</p> <p>第3章 生活を豊かにする工夫</p> <p>選択 生活の課題と実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の風土に根ざした住居とともに、外国の住居の例も写真で取り上げました。(第5号) ・家族や地域の人々といっしょに安全で快適な住生活をつくっていけるように、自分の住生活と他の人とのつながりを常に意識できるように配慮しました。(第3号) ・環境に配慮した健康で快適な住生活のための実践例を多く取り上げ、家庭生活の中で取り組みやすいように工夫しました。(第4号) ・日本の民族服である和服とともに、外国の民族衣装も写真で取り上げました。(第5号) ・環境に配慮した衣生活を具体的にイメージしやすいように、衣服の手入れ方法や、着なくなった衣服の処分・活用方法について、多くの例をあげました。(第4号) ・布を用いた実習では、多くの作品例を写真で示し、生徒が個性に応じた工夫がしやすいよう配慮しました。(第2号) 	<p>150～153ページなど</p> <p>154～163ページなど</p> <p>164～171ページなど</p> <p>180～183ページなど</p> <p>188～197, 198～199ページなど</p> <p>210～221ページなど</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
D 身近な消費生活と環境 第1章 わたしたちの消費生活 第2章 家庭生活と環境分野の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな角度から自分の買い物について見つめ、考えることを通して、消費者であることの自覚を高め、自分らしい消費生活を送ることができるように配慮しました。(第2号) ・自分の行動が社会を動かす大きな力になるということに気付かせるために、社会とのつながりの例を示したり、行動の意味を考えさせる場面をつくったりするなどして、多くの紙面を割きました。(第1, 3号) ・フェアトレードという選択肢を取り上げるなどして、自分の消費行動を個人の視点と社会の視点から捉えられるようにしました。(第3, 4, 5号) ・日常生活と環境とのかかわりが具体的につかめるように、イラストや図など、豊富な資料を掲載しました。(第4号) ・キャリア教育の一環として、身近な社会で働く人からのメッセージを取り上げ、自分と社会とのつながりを意識させるようにしました。(第2号) 	228～239ページなど 248～249, 250～252, 254～257ページなど 250～253ページなど 259, 260～268ページなど 257, 269ページなど

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

生徒が親しみをもって学習できるように、架空のふたごの生命体「ファミリン」「ライフン」を設定し、多くの場面に登場させました。自分の生活を見つめ直すヒントや、学習の広がりへのきっかけとなることをねらっています。カラーバリアフリーに配慮し、ユニバーサルデザインの教科書を目指しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-17	中学校	技術・家庭	技術・家庭(家庭分野)	第一学年から第三学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
6・教図	家庭・725	新技術・家庭 家庭分野		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領に示された「目標」および「内容」にもとづきながら、中学生が、技術・家庭(家庭分野)の学習を通して、自ら考え、自分らしい生活をつくり、他者とかわりながら社会の一員として行動できるように、特に以下の5点について配慮して編修しました。

①中学生の視点を大切に

- 中学生が親しみを持って学習できるように、ともに学習を進める**ふたごのキャラクター**(ファミリンとライフン)を登場させました。キャラクターのつぶやきが、自分の生活を見つめ直すヒントや、学習の広がりのかきかけとなることをねらいました。
- 各章や節の導入では、**自力度チェック**や**クイズ**、中学生に馴染み深い**アニメ作品**などを取り上げ、中学生が興味を持って学習を始められるように工夫しました。
- イラストや写真を多く使用し、ときには**ダイナミックな表現**を用いるなどして、中学生が楽しく学習できる工夫を盛り込みました。
- 編集時に行った**中学生アンケート**や、中学生が知りたいこと(根拠や理由、学習のヒント、知ると得をすることなど)をできるだけ多く示すようにしました。
- 平成24年度版教科書の**採用校へのアンケート**をもとに、現代の中学生の実態に合わせて、**安全への配慮の記述を充実**させたり(近年、増加傾向にある**食物アレルギー**をもつ生徒への配慮や**左利き**の生徒への配慮なども含む)、**短時間でもできる実習の掲載**を増やしたり、内容の掲載の順番を変更するなどして、より一層活用しやすい教科書となるように工夫しました。



ファミリン



ライフン

②実感をともなう理解のために

- 食品や子どもの手形などの**原寸大写真**を掲載したり、料理の**失敗例**を掲載するなど、基準になるものを示し、見て納得できるような工夫をしました。
- 身近な年中行事や人生のお祝いごとを一覧にしたり、全都道府県の郷土料理を掲載したり、布を使った作品の工夫例を多数掲載するなどして、自分の生活を見つめ直したり**他と比較して**考えたりしやすいように工夫しました。
- 調理実習や布を使った製作実習以外にも、実習を多く掲載し、実際に手を動かしたり、考えたり、話し合ったりしながら、**実践的・体験的に**学習を進められるように配慮しました。
- 身近な地域社会で働く人々からの中学生に向けたメッセージを掲載することにより、自分と社会とのつながりを意識できるように工夫しました。

③しなやかな心と体を育むために

- ・自己実現にとどまらず、グローバルな視点で**持続可能な社会**を他者と協力しながら築くことができるように、**共生の視点**を多く盛り込みました。
- ・生徒同士がともに学び合い、**技術・技能とコミュニケーション能力**をともに高めていけるように、グループやクラスで話し合ったり、考えたりできる実習やワークを多く掲載しました。このことにより、**言語活動の充実**にもつながることを狙っています。
- ・**伝統・文化**にかかわる記述を多く掲載しました。
- ・多種多様な価値観を否定しないよう表現に配慮しました。また、中学生が将来にわたって家庭や地域社会で自立した生活を営む見通しを持てるよう、**空間軸と時間軸**を意識して編集しました。**キャリア教育**の視点から将来を見据えた選択や計画ができるよう配慮しました。
- ・**安全への配慮**は特に気をつけて、内容を充実させました。

④小・中・高の学習のつながりを大切に

- ・冒頭の**ガイダンス**では、**小学校での学習をふり返り**ながら、**中学校3年間の学習の見通し**を持たせ、さらに、今後につなげていくイメージを持ちやすいよう工夫しました。
- ・**A,B,C,Dの4つの内容**で構成し、学習指導要領との対応や小学校の学習とのつながりがわかりやすい構成としました。教える側にも、学ぶ側にも理解しやすいつくりとしました。
- ・**復習マーク**を示し、小学校のふり返りができるようにしました。
- ・巻末に「**家庭分野の学習をふり返ろう**」を設け、これからの生活での活用について考えられるようにしました。
- ・技術分野との関連のある部分については、「**リンク**」マークを用いて示しました。

⑤自学・自習しやすい教科書に

- ・**学習の目標**の明記、**キーワードチェック欄**の設置、重要な語句を**太字**で示すなどして、学習しやすい工夫を盛り込みました。
- ・本文や図、コラムなどでは、文章量を充実させ、読んで理解を深めることができるように配慮し、さらに**言語活動の充実**にもつながるよう配慮しました。
- ・各内容の最後には「**学習のふり返り**」として確認問題を掲載し、学習のチェックができるようにしました。
- ・授業で得た知識・技能を生活の場面で活用したくなるように、「おいしい調理実習」「つくりたくなる布作品」となるよう、教材の工夫をしました。実習題材は編集時にすべて試作をし、おいしさやつくりやすさを確かめたものを掲載しています。
- ・選択して学習する生活の課題と実践では、中学生が実践しやすいように、身近な例を**マンガ形式**で示しました。
- ・**発展的学習内容**を掲載し、興味に応じて学習できるようにしました。
- ・**カラーバリアフリーに配慮**し、ユニバーサルデザインの教科書を目指しました。
- ・導入・図・本文などのレイアウトをできるだけ固定化するなどして、**特別支援**が必要な生徒にも学習しやすいように配慮しました。

<各内容別のおもな特色>

A 家族・家庭と子どもの成長

- ・ロールプレイングやグループでの話し合い、地域の人へのインタビューなど、実習を多く盛り込みました。コミュニケーション能力を高めることや、言語活動の充実を目指しています。⇒p.18-19,25,26など
- ・子どもとふれ合う機会の少ない中学生でも、スムーズに幼児とふれ合えるように、写真やイラストを多く掲載しながら、事前準備学習がしっかり行えるページをつくりました。⇒p.52-57
- ・社会の一員として家族や地域の子ども、高齢者に目を向けられるように、教科書全体で意識的に家族や地域の人を多く登場させました。⇒p.70,140,144-147,154-157,160-161,165,168,224-227,239,268ほか

B 食生活の自立

- ・食育の充実を図るため、食の学習が系統的に学習できるよう配慮しました。⇒p.68-147
- ・調理実習と、栄養や献立の学習とのつながりを大切にしました。⇒p.70-133
 - 調理実習題材は、実際に料理をつくる学習だけでなく、料理の写真や材料・分量を栄養や献立の学習で活用することができます。調理実習の題材を組み合わせたバランスの良い食事献立例を掲載しました。盛りつけや配膳、安全にも配慮しました。⇒p.91,92-93,102-103,104-113,114-133など
 - 実習題材は主食・主菜・副菜・汁物・間食に分けて単品ごとに掲載しました。⇒p.116-133
 - 縦に流れるレイアウトを使用し、手順を写真で示すなど、調理しやすい工夫をしました。⇒p.116-133
- ・ほうちょうの扱い方では、切り方の解説とともに切ったあとの食材の原寸大写真を掲載しました。調理実習で使う切り方が、このページで確認できるようになっています。⇒p.106-107
- ・6つの基礎食品群と各食品の概量をしっかりと理解することができるように、写真を多用した一覧表を掲載しました。また、6つの食品群に色別のサイコロマークを設定し、食品成分表や調理実習の材料などにもマークを併記し、定着をねらいました。⇒p.92-93,80-85,116-133
- ・調理理論やポイントを掲載し、科学的な理解を促す工夫をしました。⇒p.104-113,116-133など

C 衣生活・住生活と自立

- ・人を取りまく身近な環境である「衣」と「住」は、学習しやすさを考慮し、章を分けて展開しました。布を用いた製作で、衣と住を融合させた題材を掲載しました。⇒p.148-227
- ・住生活では、同じ家の間取りをくり返し、教材として使用しました。家庭内事故の例や快適な住生活のための工夫では、ダイナミックな表現を用いました。⇒p.155, 162-163, 170-171
- ・衣生活では、衣服計画を軸にして、着用・入手・手入れ・処分の内容を展開しました。消費者としての視点、環境への配慮といった視点も大切にしました。⇒p.174-175など
- ・ゆかた、柔道着、はんでん、作務衣、はっぴなどの身近な和服を取り上げました。ゆかたについては、部分名称や着方、たたみ方なども示しました。⇒p.181-183など
- ・玉どめ、玉結び、ボタン付け、スナップ付けや基礎縫いの方法などは、イラストと写真を使い分けて、大きく分かりやすく表現しました。⇒p.194-195
- ・布を用いた製作題材は、取り組みやすいように練習作品から掲載しました。環境に配慮し、古着や不要な布製品をよりよいものにつくりかえて価値を高める「アップサイクル」も取り上げました。⇒p.210-211, 220など

D 身近な消費生活と環境

- ・自立した消費者となるように、「契約」「消費者の権利と責任」については特に力を入れ、イラストや文章を用いて丁寧に展開させました。⇒p.240-241,254-257など
- ・個人の満足を高めるだけでなく、国際社会や環境についても考えて行動できる、消費者市民としての自立を目指しました。「自分の行動が社会を変える大きな力になる」ことを実感してもらえるように、多くの紙面を割き、くり返し呼びかけました。⇒p.248-249,250-253,254-257など
- ・生活と環境との関わりについての統計資料を多く掲載しました。社会の状況をデータから客観的に把握する力を育むことを目指しました。⇒p.262-263など
- ・「がまんする」ではなく、「楽しみながら」環境に配慮した自分らしいライフスタイルが築けるように、さまざまな工夫例を盛り込みました。⇒p.264-271など
- ・貯蓄や寄付など、これからの経済生活を考える発展的学習を掲載しました。⇒p.238-239

2.対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
家庭分野の学習を、はじめよう！ 年中行事とわたしたちの暮らし	A(1) ア	口絵1～2 口絵3～7	1
わたしの成長と、家庭分野の学習	A(1) ア	4～5ページ	
A家族・家庭と子どもの成長			
第1章 家族と家庭生活	A(1) ア, A(2) ア, イ	6～27ページ	8
第2章 幼児の生活と家族	A(3) ア, イ, ウ, D(1) ア, イ	30～57ページ	11
選択 生活の課題と実践	A(3) エ	62～67ページ	(※1)
B食生活と自立			
第1章 健康と食生活	B(1) ア, イ	68～85ページ	7
第2章 献立作成と食品の選択	B(2) ア, イ,ウ, D(1) ア, イ, D(2) ア	86～101ページ	8
第3章 日常食の調理と地域の食文化	B(3) ア, イ, D(1) ア, イ, D(2) ア	102～141ページ	14
選択 生活の課題と実践	B(3) エ	144～147ページ	(※2)
C衣生活・住生活と自立			
第1章 わたしたちの住生活	C(1) ア, イ, ウ, D(1) ア, イ, D(2) ア	148～171ページ	10
第2章 わたしたちの衣生活	C(2) ア, イ, D(1) ア, イ, D(2) ア	172～199ページ	10
第3章 生活を豊かにする工夫	C(3) ア, D(2) ア	200～221ページ	6
選択 生活の課題と実践	C(3) ウ	224～227ページ	(※3)
D身近な消費生活と環境			
第1章 わたしたちの消費生活	D(1) ア, イ	228～257ページ	8
第2章 家庭生活と環境	D(2) ア	258～271ページ	2
		計	87.5
(※1)～(※3) は 1～2つ選択し、計 2.5として計算			

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-17	中学校	技術・家庭	技術・家庭(家庭分野)	第一学年から第三学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
6・教図	家庭・725	新技術・家庭 家庭分野		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
28-29	自己決定のプロセスを考えよう	2	A家族・家庭と子どもの成長(2)家庭と家族関係
51	幼児の大好きな,ごっこ遊びを見てみよう	2	A家族・家庭と子どもの成長(3)幼児の生活と家族
58-59	子どものすこやかな成長のために	2	A家族・家庭と子どもの成長(3)幼児の生活と家族
138-139	世界のいろいろなめん料理	2	B食生活と自立(3)日常食の調理と地域の食文化
141	味といっしょに楽しもう ～地域の伝統的な器～	2	B食生活と自立(3)日常食の調理と地域の食文化
153	世界各地の住まい	2	C衣生活・住生活と自立(2)住居の機能と住まい方
159	マンガやアニメの主人公は,どんな 住まいで暮らしているの?	2	C衣生活・住生活と自立(2)住居の機能と住まい方
180-181	世界の民族服	2	C衣生活・住生活と自立(1)衣服の選択と手入れ
191	進化する衣服	2	C衣生活・住生活と自立(1)衣服の選択と手入れ
238-239	お年玉を例に,お金とのつきあい方を 考えよう!	2	D身近な消費生活と環境(1)家庭生活と消費
252	おいしいチョコレートの真実	2	D身近な消費生活と環境(1)家庭生活と消費
257	商品の企画をしてみよう	2	D身近な消費生活と環境(1)家庭生活と消費